



沖縄県立那覇国際高等学校

飛躍

学校だより 第1号

2026年(令和8年)6月10日

校是: 右文尚武

(学業を尊び、部活動にも励む)

発行者 校長 伊志嶺嘉典

校長あいさつ ~2か月を振り返りながら~

4月より本校の校長を拝命しました伊志嶺嘉典と申します。これから定期的に「学校だより」をお届けします。タイトルは、本校の校訓「自主・敬愛・飛躍」の一つから進路だよりと同じく「飛躍」としました。

私自身、2004年度から7年間、本校で勤務した経験があり、思い出深いこの学校に再び戻り、教育活動に携われることを大変嬉しく思っています。

この2カ月間、遠足や新入生球技大会、県高校総体など、生徒たちの躍動する姿に力をもらい、時間は瞬く間に過ぎ去りました。また、本校は今年度、県教委より国の「N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール事業」の先導拠点校に指定され、5月に文科省への申請を行いました(事業の詳細は後日お伝えします)。本校にとって、大きな飛躍のチャンスを迎えています。

本校の校歌には、「翼たくましく…国をこえ 羽ばたかん」という一節があります。この精神を受け継ぎ、本校の強みである国際交流や体験交流活動を通じて、生徒たちが主体的に考え、グローバルに活躍できる力を教職員一丸となり育ててまいります。

来年度は創立30年の節目を迎えます。森田PTA会長をはじめ、保護者・同窓会・後援会、地域の皆様と連携し、本校のさらなる発展に全力を尽くします。どうぞよろしく願いいたします。



校訓碑

~ 高校生のための文化講演会 ~

6月3日(水)、医師で作家の鎌田實先生をお招きし、「高校生のための文化講演会」を開催しました(6/4付け琉球新報に掲載)。本講演会は、公益財団法人「一ツ橋文芸教育振興会」が地方新聞社との協力により、全国各地で実施されているものです。

講演では、貧困の中で育った生い立ちや、父から授かった「自由に生きろ」という言葉を糧に、医師としてのキャリアを築き上げ、さらには作家としての夢を叶えた経験が語られました。時間を支配することや読書の重要性に加え、他人のために1%の力を使う利他的な姿勢が自分を守ることにつながること。また、他者と異なる「変差値」や個性を尊重し、挫折しても「バツに近い三角」で良いと捉える心の余裕を持ち、目に見えない価値に気づき、自らの意志で人生を切り拓くなど、多くの示唆をいただきました。

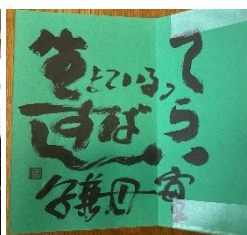
さらに、大変ありがたいことに、図書室へたくさんの本を寄贈していただきました。生徒の皆さん、ぜひ多くの本と触れ合い、読書の喜びを体験してください。



講演会



質疑応答



サイン本

生徒活躍!

5月22日、高校生最大のスポーツの祭典「県高校総体」の総合開会式が行われ、県内各地で熱戦が繰り広げられました。本校からも男女合わせて12競技249名が参加しました。また、高文連の大会に6つの部活動が参加し、日頃の成果を堂々と披露しました。生徒の皆さんお疲れ様でした。上位大会へ派遣される生徒の皆さんのさらなる活躍を期待します。主な結果は下記のとおりです。

【団体競技】

- ・競技かるた 準優勝
- ・水泳男子総合 4位
- ・女子サッカー ベスト4
- ・空手男女団体組手 ベスト4

【個人種目】

- ・陸上女子幅跳び・三段跳び優勝
- ・男子50M・100M 平泳ぎ優勝
- ・NHK杯放送コンテスト

朗読部門・放送部門 優秀賞